

つばめ夏まつり

8月29日(土)

残念ながら、今年の8月末は雨続きの関東。忙しいお父さん方によって、前日の金曜日、おじいちゃんたちが奮闘してくださいました。園庭につながるベランダから透明ビニールの庇を張り出してもらって模擬店の場所を確保することができました。

今年の盆踊りのメインは「青い空は」音頭。ホールに集う老若男女、大人も子どもも入れ混じり、平和であってほしいと踊りに願いを込めました。

みんなが楽しみにしていた模擬店は、雨にもかかわらず地域の方が大勢参加してくださったので、食べ物及早々に無くなってしまったりというハプニングもありました。来年はもう少し考えようと思います。つばめの食べ物は美味しい、ということが少しずつ広がっているのかもしれない。

和太鼓や盆踊り等、日本の伝統文化に触れ、子どもたちの豊かな感性が育ってくれればと思います。

夕方、雨が上がり打ち上げ花火も上げることができて、大喜びの子どもたちでした。



手づくりの花火を上げて歌います



流しソーメン



うちわを持って踊った「青い空は」音頭



お得意の「海のうた」



「鼓作」の皆さんの太鼓演奏



「焼き鳥屋さん」のお父さん達

ハッピー姿の娘がかわいい

石毛まき/1才児母

小雨の中での夏まつりということで、どんな夏まつりになるのか不安な気持ちで準備が始まりました。教えていただきながら作業しているうちに、美味しそうな匂いに依ってくる子ども達を見て、何だか夏まつりの開始がどんどん楽しみになっていきました。

ハッピーに袖を通すと、とても嬉しそうにしていた娘の顔が印象的でした。

子どもたちがみんな、夏暑りを楽しんでいるようで、そんな姿が見れて嬉しい一日となりました。

我が子の叩く太鼓の力強さ

諸橋 由紀/年長児母

太鼓の音で始まった夏まつり。年長さんの力強い叩きにびっくりです。

小雨降る中でプール遊びを見ました。奈実の飛込みと泳ぎが見られてよかったです。もっと天気良かったらたくさん見られたのになあと、少し残念です。

そしてお天気を心配しながらですが、前日からやってくれたおじいちゃん方3人の力作屋根のお蔭で、雨降りでも無事夏まつりが出来て、しかも最後には雨が上がり花火までやることができて良かったです。

たくさんのお客様に囲まれて、子どもたちも楽しそうでした。

世界の国から戦の火を消しましょう

武蔵 寿子/職員

夏祭りは久しぶりの参加でした。朝から降ったりやんだりの怪しい空模様でしたが、前日3人のおじいちゃんたちがいてねいにきれいに作ってくれたビニール屋根の下に、流しソーメンやらフランクフルト、焼鶏など、ところ狭しと模擬店が並び、それは賑々しく始まりました。子どもたちの手製の提灯も軒先に並べられ、今年の年長さんが一気に描き上げたという提灯を真ん中に灯がともされ、それは美しい光景でした。

外部のお客様も、この雨では出足が鈍るのではと考えていましたが、あにはからんやたくさんの方たちが訪れて下さり、食券販売を担当した私は、食券の枚数と食べ物の数がちゃんと合っているのかどうか、ハラハラドキドキした程でした。

佳境は何と言っても盆踊りでしたね。子どもたちの「ドンとなった花火だ」や「ゆいまーる」など、自由で何のものにもとらわれない生き生きとした笑顔が、何よりもの清涼剤だったのではと思います。

ホール中に溢れかえった大人も子どもも、みどり台のおばあちゃんたちに教えていただいた「元気音頭」もとても楽しかったですね。みんな笑顔で、こんな平和な世の中が今の日本にはまだあると感じながら、「青い空は」の歌に合わせて踊った時には、どうぞ、この子達があの時は平和だったなと懐かしむような世の中にはなりませんようにと、願いを新たにしました。

『世界の国から戦の灯を消して 平和と愛と友情を…』私たちは決して平和な世を失くしてはならないと、心に誓いました。



子どもたちが絵を描いた提灯に灯がともります